

東カリブ諸国機構（O E C S）6 か国月間情勢報告
（アンティグア・バーブーダ、ドミニカ国、グレナダ、セントルシア、セント
クリストファー・ネービス、セントビンセント及びグレナディーン諸島）
（2024年8月）

在トリニダード・トバゴ日本国大使館

8月の東カリブ諸国機構（O E C S）6 か国（注）の内政、経済、外交月間報告は以下の通り。

（注：アンティグア・バーブーダ（アンティグア）、ドミニカ国（ドミニカ）、グレナダ、セントルシア、セントクリストファー・ネービス（セントキッツ）、セントビンセント及びグレナディーン諸島（セントビンセント））

1 概況

- （グレナダ）2024年1月～6月までの間に、政府はC B Iを通じて3, 034名に市民権を付与。これによる政府歳入総額は7. 534億東カリブドル（約2. 8億米ドル）。
- （グレナダ）7月1日に発生した「ハリケーン・ベリル」の復興支援として、政府は被害を受けた農業・漁業従事者を対象に、計1, 160万東カリブドル（約430万米ドル）の給付及び付加価値税・対外共通関税・通関手数料の免除を発表。
- （グレナダ）インフラ省は、「ハリケーン・ベリル」によりカリアク島及びプティトマルティニーク島で倒壊した住宅等の瓦礫除去のため、700万東カリブドル（約257万米ドル）の拠出を発表。
- （グレナダ）「ハリケーン・ベリル」によりカリアク島及びプティトマルティニーク島で倒壊した家屋再建のため、政府は同島民に対し、建築にかかる現地調達資材に対する付加価値税免除、輸入資材に対する関税免除及び2025年の固定資産税の支払い免除等を含む財政優遇措置を発表。
- （グレナダ）「ハリケーン・ベリル」により国内G D Pの約3分の1に相当する3, 000万米ドルの被害を受け、政府は本年11月及び来年5月が支払期限である約1, 700万米ドルの債務を再編する予定であると発表。
- （グレナダ）政府は、「ハリケーン・ベリル」の被害により、2024年度の歳出は予算額13. 209億東カリブドル（約4. 86億米ドル）比17. 2%増である15. 481億東カリブドル（約5. 69億米ドル）となる見込みであると発表。
- （グレナダ及びセントビンセント）韓国政府は「ハリケーン・ベリル」被災に

対する緊急援助として、グレナダとセントビンセントにそれぞれ10万米ドル寄付。

- (セントビンセント) 日本政府は、320万東カリブドル(約120万米ドル)相当の医療機材を供与し、Milton Cato Memorial Hospitalにて引渡式を実施。
- (セントビンセント) ゴンザルベス首相は、7月末時点の歳入は税収の増加により前年同期比10.1%増、歳出は「ハリケーン・ベリル」の被害により同15.6%増となったと発表。
- (セントキッツ) ダグラス外相はインドを公式訪問し、インドのスポーツ省及び電子情報技術省と、それぞれスポーツ分野における協力関係強化に関する覚書及びDX促進のための協力に関する覚書に署名。

2 内政

- (6日グレナダ報道) 7月31日付でラ・クレット青年・スポーツ大臣が辞任したことを受け、政府は同大臣職は一時的にトーマス・メンタルヘルス・福祉・宗教大臣が代行する旨を発表。
- (11日セントビンセント報道) 保健・健康・環境大臣は、2024年の Dengue 熱感染者数は9日時点で累計213名確認されたと発表。
- (28日セントキッツ報道) 投資による市民権(CBI)プログラムを通じてセントキッツの市民権を取得したロシア国籍のテレグラム創設者であるドゥロフ氏は、児童性的虐待画像の取引や詐欺の容疑でフランスにて逮捕された。

3 経済

- (6日グレナダ報道) 2024年1月～6月までの間に、政府はCBIを通じて3,034名に市民権を付与。これによる政府歳入総額は7.534億東カリブドル(約2.8億米ドル)。2024年第1四半期の市民権取得者の約半数は中国国籍(22%)とナイジェリア国籍(23%)であった。
- (7日グレナダ報道) 7月1日に発生した「ハリケーン・ベリル」の復興支援として、政府は被害を受けた農業・漁業従事者を対象に、計1,160万東カリブドル(約430万米ドル)の給付及び付加価値税・対外共通関税・通関手数料の免除を発表。
- (7日グレナダ及び11日セントビンセント報道) 韓国政府は「ハリケーン・ベリル」被災に対する緊急援助として、グレナダとセントビンセントにそれぞれ10万米ドル寄付。
- (8日グレナダ報道) インフラ省は、「ハリケーン・ベリル」によりカリアク島及びプティトマルティニーク島で倒壊した住宅等の瓦礫除去のため、700万東カリブドル(約257万米ドル)の拠出を発表。同除去作業は、気候対策・

環境・再生可能エネルギー省により実行される予定。

●（８日セントビンセント報道）政府は「ハリケーン・ベリル」被害に対し、８億東カリブドル（約２．９４億米ドル）の復興計画を発表。

●（１２日グレナダ報道）「ハリケーン・ベリル」によりカリアク島及びプティトマルティニーク島で倒壊した家屋再建のため、政府は同島民に対し、建築にかかる現地調達資材に対する付加価値税免除、輸入資材に対する関税免除及び２０２５年の固定資産税の支払い免除等を含む財政優遇措置を発表。

●（１８日セントビンセント報道、１９日グレナダ報道）チリ政府は、「ハリケーン・ベリル」による被害に対し、セントビンセント、グレナダ及びジャマイカに合計６万米ドルを寄付。

●（１９日グレナダ報道）「ハリケーン・ベリル」により国内ＧＤＰの約３分の１に相当する３，０００万米ドルの被害を受け、政府は本年１１月及び来年５月が支払期限である約１，７００万米ドルの債務を再編する予定であると発表。

●（１９日セントビンセント報道）台湾はセントビンセント政府に対し、同国の治安改善を目的に、車のナンバープレート認識カメラやＰＴＺカメラ等を含む１００台以上のカメラを寄贈。

●（２０日セントビンセント報道）「ハリケーン・ベリル」の被害に対する復興支援の一環として、台湾政府はセントビンセントに対し１００トン以上の米を寄贈。

●（２２日アンティグア報道）政府は、国内の犯罪取り締まりに１，５００万東カリブドル（約５５０万米ドル）の予算を割り当てたと発表。

●（２６日グレナダ報道）政府は、「ハリケーン・ベリル」の被害により、２０２４年度の歳出は予算額１３．２０９億東カリブドル（約４．８６億米ドル）比１７．２％増である１５．４８１億東カリブドル（約５．６９億米ドル）となる見込みであると発表。

●（２７日セントビンセント報道）日本政府は、３２０万東カリブドル（約１２０万米ドル）相当の医療機材を供与し、Milton Cato Memorial Hospitalにて引渡式を実施。

●（２８日セントルシア政府発表）国内の医療強化を目的に、政府はMillennium Heights Medical Complex病院に１，１００万東カリブドル（約４００万米ドル）を拠出。

●（２９日アンティグア報道）本年７月の全品目指数は前年度比６．２％増、商品指数は同４％増となった。

●（３１日セントビンセント報道）ゴンザルベス首相は、７月末時点の歳入は税収の増加により前年同期比１０．１％増、歳出は「ハリケーン・ベリル」の被害により同１５．６％増となったと発表。

4 外交

- （5日セントビンセント報道）ゴンザルベス首相及びスティーブンソン外相は、グレナダで開催された第47回カリコム首脳会合の-marginで松原大使と会談し、日本政府による「ハリケーン・ベリル」後の緊急援助に対する謝意を表明。
- （8日セントキッツ政府発表）ダグラス外相はインドを公式訪問し、インドのスポーツ省及び電子情報技術省と、それぞれスポーツ分野における協力関係強化に関する覚書及びDX促進のための協力に関する覚書に署名。